

# 中部・関東の旅

中2 行谷 昇

初めまして。旅行記をご案内します。行谷です。

1日目（8月4日・日曜日）

7：20分頃参加部員が上野駅中央口に集合。さあ、これから鉄研旅行が始まります。

## ① 上野から高崎へ

上野 7：48

↓ 東北本線 普通 宇都宮行（537M）

大宮 8：13

8：30

↓ 快速 はちおうじやまどり（9851M）

高崎 9：33



リゾートやまどり  
高崎駅にて

上野駅から最初の電車（E231）が出発した。私は、車内で旅行が無事に終わるといいなと思いながら乗っていた。そして、大宮駅に着いた。そこから、8か月ぶりにリゾートやまどりに乗った。この電車の椅子の座り心地はとても良かった。普通列車だと時間が長く感じる大宮～高崎間が、リゾートやまどりだと短く感じた。

列車を降りてから、やまどりのロゴの前で久しぶりに全体の写真を撮った。それから、高崎駅で1時間ほどの自由時間を過ごした。そこでは、昼食や高崎線130周年の記念ファイルを買ったり、SLの写真を撮ったりした。

## ② 上越線で新潟県突入

高崎 10：30

↓上越線 普通 水上行（731M）

水上 11：35

11：41

↓上越線 普通 長岡行（8737M・1737M）

六日町12：41



115系  
水上駅にて

いよいよ、上越線で関東脱出だ。水上行の電車では学年合宿の思い出などで盛り上がった。また長岡行の電車では、買った弁当を食べた。とてもおいしかった。また、階段が多い駅で有名な土合駅の下り線地下ホームは、クーラーのように涼しかった。私は、「ずっといたら寒いだろうな」と思った。そして、あっという間に六日町駅に着いた。

③ 新潟県から長野県へ（六日町～長野）

六日町 12:55

↓ほくほく線 普通 直江津行（836M）

十日町 13:11

13:36

↓飯山線 普通 戸狩野沢温泉行（186D）

戸狩野沢温泉 14:57

15:10

↓飯山線 普通 長野行（138D）

長野 16:09



北越急行 HK100 形  
六日町駅にて



キハ110系  
十日町駅にて

六日町駅で改札を出て青春18きっぷの出番は一旦終了。そしてほくほく線の切符を買った。きっぷは、オレンジ色だった。それにしても、4駅（六日町～十日町）が290円は高い。車内は普通列車のワンマンカーのようだった。そして十日町に15分程で着いた。そして再び18きっぷの出番が来た。十日町駅では、20分程待った。そして、戸狩野沢温泉行の列車が来た。乗っている時「やけに長い行先だな」と思い、何文字か数えてみた。『とかりのざわおんせん』—10文字だった。

出発から約1時間半後その駅に降り立った。景色や駅舎をみると、千葉にもたくさんありそうな雰囲気だったが、終着駅なのに島式ホームなうえ、留置線すらなさそうな雰囲気だった。家に帰ってから調べてみると留置線らしきものは書かれていなかったのだから、私は驚いた。

次に乗る電車は長野方面からやって来た。先ほどまで乗っていた列車は、1両編成でワンマン運転だったが、やって来た列車は2両編成でワンマン運転だった。出発から1時間後長野駅に着いた。長野駅では、夕食やおかしを買った。また、ガチャポンを買って、開けているところを駅員さんと、親子連れに見られてしまっていた人もいた。

④ 小海線制覇

長野 16:42

↓信越本線・しなの鉄道 普通 小諸行（664M）

小諸 17:46

18:02

↓小海線 普通 小淵沢行（238D）

小淵沢 20:24



しなの鉄道(115系)  
長野駅にて

長野駅を出発し関東に戻る。長野駅～途中の篠ノ井駅まではJRで、篠ノ井駅～軽井沢駅まではしなの鉄道である。会社が異なるので、切符で乗車した。また駅名表も違っていた。そして、あっという間に小諸駅に着いた。いよいよ小海線に乗車する。私は、「距離はどれくらい長いのか」と、疑問に思った。乗る列車は、2両編成のワンマン車両だった。

18時02分、電車が小諸駅を出発した。ずっと景色を見ながら乗っていて、小海線に乗る時間が長いなどと思った。そして、いつの間にか日が暮れて夜になっていた。日が暮れてから約1時間半後の20時20分頃ついに「間もなく終点、小淵沢。小淵沢です。」というアナウンス終わりを告げるアナウンスが流れた。乗車から下車までの約2時間半。とても長く感じた。そして、駅に降り立った時。「やった、全線制覇だ。」そう思うと嬉しかった。そして、駅構内の店で1つお土産を買った。残念ながらこの列車乗車中、対向列車を撮ろうとしてボタンを押して外に出たが、半自動ドアを閉め忘れたために虫を大量に車内へ入れてしまい、運転手さんに注意された人もいた。

⑤ 再び東京に戻ったかと思いきや夜行列車で白馬へ

小淵沢 20:54

↓ 中央本線 普通 甲府行 (450M)

甲府 21:33

甲府 21:36

↓ 中央本線 普通 高尾行 (572M)

高尾 23:00

高尾 23:01

↓ 中央本線 各駅停車 東京行 (2310T)

立川 23:18

ここで日付が変わります。

8月5日(月)

立川 0:29

↓ 快速 ムーンライト信州81号 白馬行 (8421M)

白馬 5:40

小海線を全線制覇し、東京に戻ろうということで中央本線を115系電車とE233系電車を使って立川まで行った。車内では、寝ている人は居らず、むしろみんな元気だったので私はとても驚いた。二度電車を乗り換えて、ようやく「間もなく立川。立川です。」という、今日一日の旅の終わりを告げるアナウンスを聞いた。私は、今日一日無事終わってよかったな、と思った。そして立川駅では、終電の撮影や翌朝の朝食を買うなどして、1時間ほど過ごした。(この時青春18きっぷの関係で0:00までには全員改札内に入らなければいけなかった)

そしていよいよ、再び東京と別れる時が来た。ムーンライト信州81号が来たのだ。ドアが開いて、1人1人ゆっくりと車内に入って行く。乗客が乗車したのを確認して車掌さんがドアを閉めた。すると、列車が動き始めた。動き始めてしばらくすると、私は眠くなったため寝てしまった。そして寝てから約4時間後の車掌さんの「間もなく松本。松本です。」というアナウンスに「もう終点か」と思って起きた。その時の外の景色を見ると真っ暗だった。そして、「まだ終点ではない。」と分かった瞬間また寝てしまった。二度寝し



115系  
小淵沢駅にて



189系  
白馬駅にて

てから1時間後にまた起きた。すると、景色が山ばかりで空は明るく感じた。それから、10分後、「間もなく終点白馬、白馬です。」というアナウンスが流れて私は良く眠れた、と思い、涼しい空気を浴びながら降り立った。白馬駅の跨線橋の中央には、スキーやスノーボードを運ぶためのスロープが設置されていた。そして、改札外に出て、仲間とともに駅前にある小さな足湯に入った。足湯のお湯はとて熱く、足が焼けそうなくらいだったが、とても気持ち良かった。

⑥ 大糸線と代行バス

白馬 6:56

↓大糸線 普通 南小谷行 (5321M)

南小谷 7:15

7:30頃

↓代行バス 糸魚川行

糸魚川 8:40分頃



大糸線の代行バス  
糸魚川にて

白馬からは大糸線のJR東日本が管理している区間の最後の駅の南小谷へ向かった。読み方は「みなみおたり」である。私は、難しい読み方をするものだなと思った。旅行をしていたとき、南小谷から糸魚川までに復旧工事をしている区間があったので、代行バスで向かった。代行バスは普通の高速バスで、JRバスではなかった。そして、40分ほどで海が見えた。日本海である。私は、日本海を見るのが初めてだったので、広くてきれいに感じた。そして、あっという間に糸魚川駅に着いた。いよいよ自由行動の始まり。私は二人の友人と一緒に行動した。果たして、自由行動は問題なしに終わることができるのだろうか。

⑦ 自由行動 その1 (糸魚川～長野・善光寺)

糸魚川 8:58

↓北陸本線 普通 直江津行 (533M)

直江津 9:37

10:13

↓信越本線 妙高4号 長野行 (3324M)

長野 11:53

長野駅善光寺口バスターミナル1番乗り場 12:10

↓アルピコ交通バス 16系統若槻条行

善光寺大門バス停 12:20

善光寺見学

善光寺大門バス停

↓アルピコ交通 ビンズル号

長野駅善光寺口バスターミナル



普通妙高号 (189系、右手前)  
快速くびき野号 (485系、左奥)



アルピコ交通 ビンズル号  
長野駅前にて

糸魚川～直江津間は旅行では唯一のJR西日本の区間でもあるし、また、唯一日本海が

見ることができる区間だった。そのため、1時間程でその区間が終わってしまうのは少し寂しく感じた。

直江津駅に着いた後、私は改札外に出て新潟県限定のお土産を買った。そして、183系を使った妙高に乗車した。乗った時、全車指定席の車両に乗車券だけで乗れるのはすごいなと思った。車内では、友人の一人と一緒にお菓子を食べたり、景色を見ていたりした。そして約2時間かけてようやく長野駅に着いた。とても時間が長く感じ、この旅行で2度目なのに長野駅が久しぶりに感じた。そして、買い物を済ましてからバスに乗って善光寺に向かった。善光寺大門バス停までは駅から15分ほどで着いた。

バスから降りた後、ひやりとすることが起きた。それは、メンバーの一人が財布を無くしてしまったが、落とした財布が置かれていると思われるバスが信号で止まっていたため、取りに行くことができた、という事件だ。解決してほっとしたところで歩いて善光寺の境内に入った。境内の中にある本殿では、お参りをするところのほかに暗い迷路のようなものがあって、とても暗かった。他には善光寺に関する資料館もあった。また山門に登ることもできたので登ってみると、きれいな景色を見ることができた。そして商店街にある、お土産屋さんでお土産にするまんじゅうを買った。そして、善光寺大門バス停まで歩いて戻ってバスに乗って長野駅に戻った。帰りのバスはオリジナルバスだった。そのバスの座席の中には、ベンチのような横向きの座席もあった。しばらくして長野駅に着き、駅の待合室で30分仮眠をし、松本へ出発した。

⑧ 自由行動 その2 (長野～松本・松本城・日帰り温泉)

長野 15:04

↓篠ノ井線 普通 松本行 (1232M)

松本 16:19

松本駅お城口バス停に移動

松本駅お城口バス停 16:30

↓アルピコ交通 タウンスニーカー北コース

松本城・市役所前バス停 16:38

松本城見学

松本城・市役所前バス停 17:52

↓アルピコ交通 31系統 美ヶ原温泉行

美ヶ原温泉バス停 18:15頃

日帰り温泉「白糸の湯」に入浴

長野駅を出た電車は、約30分後で姨捨(おばすて)駅に着いた。着いたあと、少し降りる時間があったので降りてみると、とても景色がきれいだった。そして、長野駅出発から1時間で松本駅に着いた。着いてから、バス停まで歩いていると、丁度乗るバスが来たのでそのバスに乗り、松本城へ行った。松本城の天守閣最上階から見る景色は、とても眺めがよくてきれいだった。また濠の外から撮る天守閣を撮るときれいな写真になった。そ



E127系  
長野駅にて



姨捨駅からの絶景

のあとは、二日ぶりに風呂に入った。二日ぶりの風呂は、暖かくて気持ちがよかった。私は、これで無事家に帰れるといいなと思った。

⑨ 自由行動 その3 (松本～名古屋)

美ヶ原温泉バス停 19:08

↓アルピコ交通31系統 松本バスターミナル行

松本駅バスターミナル 19:26

松本駅まで歩いて移動。

松本 20:31

↓中央本線 特急 ワイドビューしなの26号 名古屋行 (1026M)

名古屋22:34

全員早く風呂に入り終わったので、早めに松本駅に戻り、駅前のコンビニやお土産屋さんで買い物をし、駅構内に入った。そして20時31分、ついに松本駅を出発し集合場所の名古屋駅に向かった。車内では最初、友人とお菓子を食べていたが、途中からは名古屋駅で起こされるまで寝ていた。起きて景色を見ると、大雨が降っていた。私は「最後にこんな雨か」と思いながら、集合場所に向かった。それにしてもこのひどい大雨。これがこの後悲劇を呼ぶことになる。



383系  
松本駅にて

⑩ 名古屋～品川 (悲劇のながらホテル)

名古屋 23:50頃

↓快速 ムーンライトながら (9390M)

品川 10:00頃



183系 熱田駅にて

名古屋駅の集合場所に集まって本来ならば23:18分発の「快速 ムーンライトながら 東京行」を待っていた。しかし、発車時刻になっても来ない。そしてとうとう、電光掲示板に遅れが表示された。大雨の影響による速度減速が原因だ。表示された後も、遅れる時間は5分ずつ増えていった。そして、出発予定時刻から30分遅れてようやく来た。乗車して一安心し、寝ようとしたところだった。熱田駅で再び電車が止まってしまった。止まった後、私は少ししてから寝てしまった。そして翌朝、6時30分ごろ目が覚めた。覚めた時の視界に海が映ったので、「沼津あたりかな？」と思ったので友人に聞いてみると、「浜松を過ぎたところだよ」と言ったので、驚いた。そのあとは友人と遊んだり、外の景色を眺めたりした。その間に列車は、静岡、沼津と停車していった。そして、間もなく横浜というところだった。車掌さんのアナウンスがあり、東京駅の東海道線ホーム4線がすべて使用されているために駅に入れなということから、この日(8月6日)にかぎり品川止まりになるとのこと。びっくりした。まさかの品川止まり。さらに、横浜駅の発線内の電光掲示板の行先は品川行になっていた。そして、5時間遅れてようやく品川駅に着いた。駅に着いて、青春18きっぷで改札を出た。これで旅行は終わりなのだが、朝の10時に終わる鉄研旅行は初めてだったので、正直終わったという気にはならなかったが、無事終わってよかったと思う。